A204 □胞

300109

A204□胞は、横紋筋肉腫の1歳女性患者の筋肉由来のヒト上皮□胞である。A204□胞は、3次元□胞培養と腫瘍形成特性への応用により、腫瘍生物学と治療的介入の可能性を研究する機会を提供する。筋肉組織に由来するA-204□胞は、臓器や組織に見られる□胞の外層によく似ている。

A204□胞株は、その攻撃的な未分化表現型を特徴とし、軟部肉腫の腫瘍形成と転移の分子メカニズムを研究するための貴重なモデルとなっている。

A-204□胞におけるAK-1、ES-D、G6PD、GLO-I、Me-2、PGM1、PGM3を含む特定のアイソザイムの存在から、その代謝特性についての知見が得られる。これらのアイソザイムは、がんの進行や治療反応に関与する□胞プロセスを理解する上で役割を果たすかもしれない。

これらの□胞はin vitroで強固な増殖を示し、□胞増殖、アポトーシス、薬剤耐性メカニズムの研究に用いられてきた。 A204□胞株は、新しい化学療法剤の評価や横紋筋肉腫□胞と治療化合物との相互作用の理解にも役立っている。

この□胞株は、肉腫やその他の関連悪性腫瘍に対するより効果的な治療法の開発を目指す癌研究者にとって不可欠なツールとなっている。

概要

□明

A204□胞は、横紋筋肉腫の1歳女性患者の筋肉由来のヒト上皮□胞である。A204□胞は、3次元□胞培養と腫瘍形成特性への応用により、腫瘍生物学と治療的介入の可能性を研究する機会を提供する。筋肉組織に由来するA-204□胞は、臓器や組織に見られる□胞の外層によく似ている。

A204□胞株は、その攻撃的な未分化表現型を特徴とし、軟部肉腫の腫瘍形成と転移の分子メカニズムを研究するための貴重なモデルとなっている。

A-204□胞におけるAK-1、ES-D、G6PD、GLO-I、Me-2、PGM1、PGM3を含む特定のアイソザイムの存在から、その代謝特性についての知見が得られる。これらのアイソザイムは、がんの進行や治療反応に関与する□胞プロセスを理解する上で役割を果たすかもしれない。

これらの□胞はin vitroで強固な増殖を示し、□胞増殖、アポトーシス、薬剤耐性メカニズムの研究に用いられてきた。 A204□胞株は、新しい化学療法剤の評価や横紋筋肉腫□胞と治療化合物との相互作用の理解にも役立っている。

この□胞株は、肉腫やその他の関連悪性腫瘍に対するより効果的な治療法の開発を目指す癌研究者にとって不可欠なツールとなっている。

ティッシュ	筋肉
病気	横紋筋肉腫
転移部位	原発腫瘍の発生部位（筋肉）

用途

横紋筋肉腫の研究；小児肉腫の生物学；筋分化に関する研究；薬剤感受性；前臨床肉腫モデル

同義語

- A-204

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	非遺伝子組み換え

GMOのステータスに関する詳細

No genetic modification; wildtype rhabdomyosarcoma cell line

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	横紋筋肉腫□胞

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

腫瘍形成性	ヌードマウスにおいて。胚性横紋筋肉腫に類似した小さな悪性腫瘍を形成する。
倍数性	二倍体と四倍体
MSIの状態	安定（MSS）
倍増時間	26時間から36時間

識別子

引用

A204（サイシオン カタログ番号 300109）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1058

発現と感受性

アイソザイム

PGM3，1，PGM1，1，ES-D，1，Me-2，1，AK-1，1，GLO-1，1，G6PD，B

取り扱いと飼育

培地

DMEM，w：4.5g/Lグルコース、w：4mM L-グルタミン、w：3.7g/L NaHCO3，w：1.0mMピルビン酸ナトリウム（Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37°C，5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml，T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml，T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

分割比率	1~5
播種密度	0.5~1×10⁴□胞/cm²
流体の更新	週2~3回
解凍後の回復	解凍後、□胞を2×10⁴□胞/cm²で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24~48時間行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	1年

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB